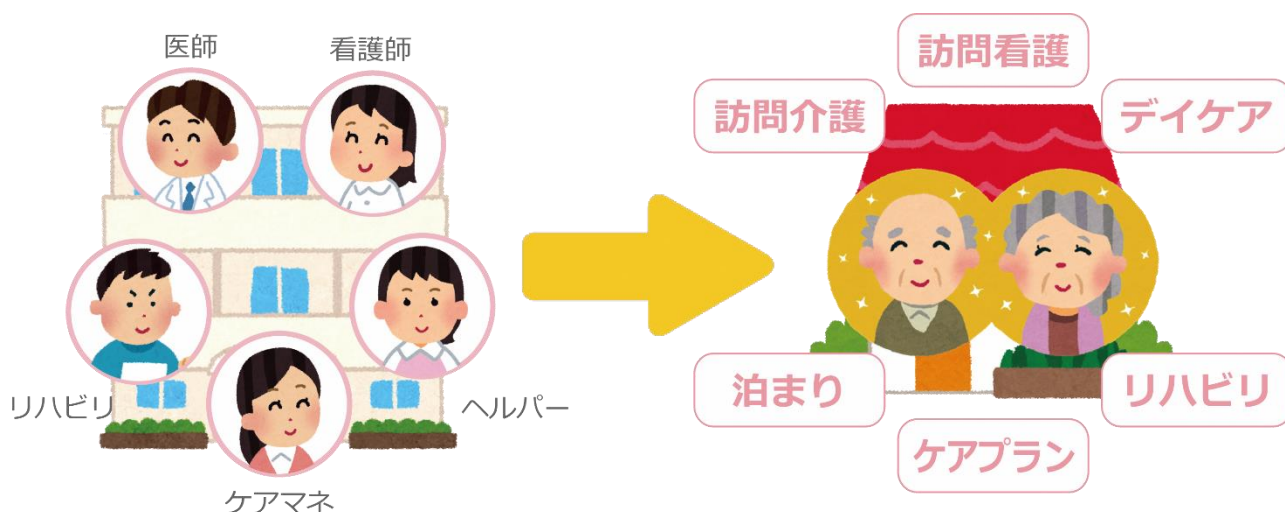


令和元年度 第2回北空知地域入退院支援研修会

～療養が必要な住民を支援する支援者の力量アップのために～



北空知地域の医療関係者と地域支援関係者が

連携して入退院支援を進めていく関係を築く

- 1 支援関係者が、本人や家族の思いに添った支援ができるようになる
- 2 医療関係者と地域支援関係者が、情報を共有し同じ目標で支援ができるようになる

とき 令和元年11月18日(月) 18:15～19:45 ところ 深川市立病院 2階 会議室

18:15	開会・挨拶 大場小部会長
18:20	1 事例紹介 「5年後の生活を想像して、本人・家族への支援を考える」 提供者 深川市地域包括支援センター介護支援専門員 上林早苗さん ※事例発表(10分)、質疑(5分)
18:35	2 事例検討 「5年後の生活を予測し、どのような課題があるかについて」 「課題を踏まえ、本人・家族に寄り添った継続支援について」 (1)検討の進め方(5分) (2)自己紹介&テーマに沿って検討(40分) ①5年後の生活を考え、課題を整理してみましょう。 ②整理した課題からどのような支援が必要か考えてみましょう。 (3)全体共有・アンケート記入(20分)
19:40	閉会・挨拶 河野部会長

8050問題

主催:北空知地域医療介護確保推進協議会 共催:北空知介護支援専門員連絡協議会

「5年後の生活を想像して、本人・家族への支援を考える」

《18:20～18:35（15分）》

◎ 事例発表（10分）、質疑応答（5分）

※事例発表後に質疑を受け共通理解を深めます。

さらに質問があるグループには事例関係者が巡回して応答します。

《18:35～19:20（45分）》

1 検討の進め方（5分）

2 自己紹介：あなたのマイブームを添えて自己紹介

3 司会の役割：テーマについて意見を出しやすい雰囲気をつくる

書記の役割：模造紙に記録する（発表時に貼りませんので自由に記載）

4 事例検討（自己紹介・役割決め含め40分）

テーマ（1）「5年後の生活を予測し、どのような課題があるかについて」

（2）「課題を踏まえ、本人・家族に寄り添った継続支援について」

＜検討の視点＞

①本人・家族の身体状況や世帯全体の生活状況を想像し、この先どのような課題が予測できますか。

②このような方に継続支援していく際、予測した課題を踏まえ今後どのような支援が必要ですか。

①②の順で検討しますが、②に時間を割いて話し合います。

①、②それぞれを模造紙に記録します。

⇒アンケートの記載のアナウンスを行う。

《19:20～19:40（20分）》

5 全体共有・アンケート記入

・GW発表（話し合いの1例を紹介）

※いくつかのグループにインタビューします。

※重なってもよいので紹介したいものを発表してもらいます。

・事例提供者から感想を一言

・アンケート記入

この事例は社会問題となっている“8050問題”の具体的事例です。本人・家族それぞれに支援課題があり、さらには世帯全体としての支援課題があります。この事例の将来を想像しながら支援していくことが大切です。一緒に考えてみましょう。

◎グラウンドルール◎

- ☺ みんなで考え全員が発言する
- ☺ 他の意見を否定しない、アラ探しをしない
- ☺ 人の話はさえぎらない にこやかに
- ☺ 各々の専門性や経験・知識を交換しましょう

